

金融教育に関する取組について (金融教育セミナー実践発表)



新発田市立第一中学校
中村 祐一

・ 当校の概要

- (1) 生徒
 - 全校生徒410名(各学年4学級)
 - 特支3学級(知的1, 情緒2)
 - 2つの小学校から入学
 - 学力→全国、県平均を上回る
(NRT,全国学力・学習状況調査)
- (2) 教職員
 - 県費負担30名、市職等10名, 計40名
- (3) 地域や保護者
 - 協力的、教育に対する関心も高い
 - 古くからの商業地と新興住宅地を有する

・ 教育の特色

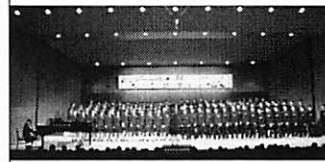
(1) 新発田市

- ・H20年→「日本語教育特区」
教科「日本語」新設
- ・「食とみどりの新発田っ子プラン」
- ・人権教育, 同和教育の推進

(2) 当校～「一中飛躍」～

- ・学校支援地域本部事業
- ・「第九」「ハレルヤ」を原語で
- ・地域と共に歩む学校
「ボランティア活動」, 「職場体験活動」等

学校生活のスナップ



合唱コンクールでの「ハレルヤ」



駅前清掃ボランティア



ボランティアによる中庭整美



卒業式での「第九」の合唱

具体的な取組

1 社会科「企業を通して経済を考えよう」

(1) 研究主題

地域の人や事業所とかかわり合いながら、自己の生き方を見つめ、社会に貢献しようとする生徒の育成

- ① 用語の整理や知識の習得にウエイトを置く傾向が強い
- ② 「難しい」, 「実生活と距離感がある」



苦手意識が強い

(2) 単元の構想

① 意図

- ・消費者、生産者、市民の一員として、考えさせることが大切
- ・選択・意志決定というプロセスで理解

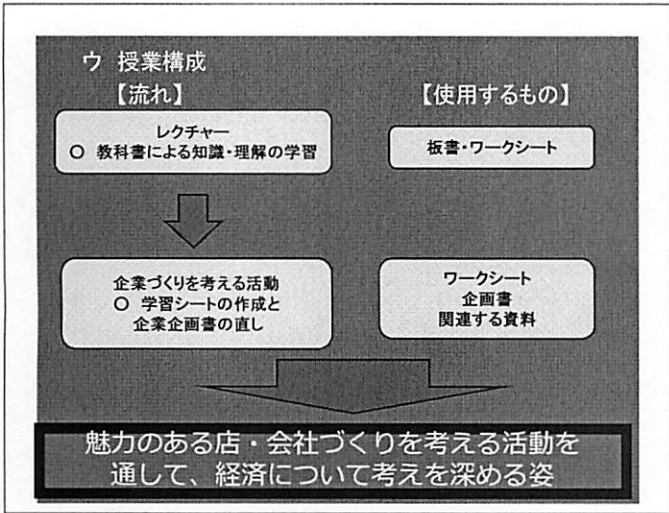
② 手だて

- ア 課題設定の工夫

生徒が店のオーナーになり、
集客にはどうすればよいか？

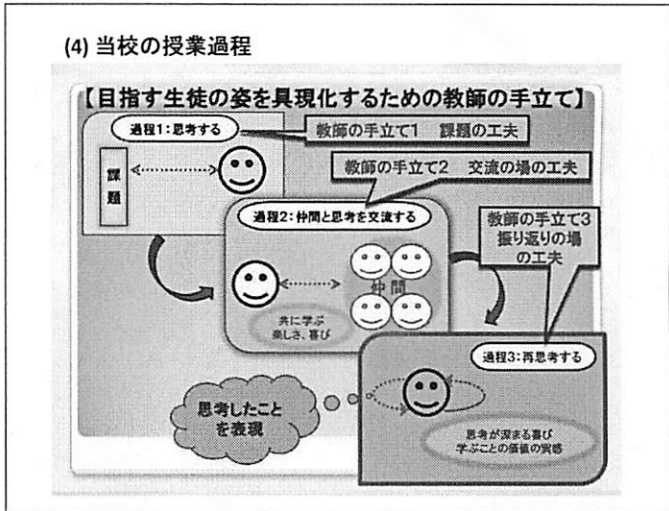
イ 既習事項の活用

- ・生産のしくみ
- ・金融のはたらき
- ・企業の役割と社会的責任



- (3) 授業の構想
- ① 本時で期待する生徒の姿
- 仲間との意見交換を通して、「パン屋の「戦略」について自分の考えを深める姿
- ② 本時の手だて
- ア 手だて1(個で思考する場面)
- ・戦略について自分の店のコンセプトを考えさせる
 - ・自分のコンセプトの説明ができるようにさせておく
- イ 手だて2(仲間とのかかわり合う場面)
- ・友だちの考えを取り入れる
 - ・質問、アドバイスする

- ウ 手だて3(考えを練り上げる場面)
- ・パン屋の工夫の確認
 - ・自分の考えの再思考
- エ 手だて4(個で再思考する場面)
- ・「競争」のメリット・デメリットの思考
 - ・企業と消費者の立場からの思考
- オ 手だて5(仲間とのかかわり合う場面)
- ・グループ協議
 - ・ホワイトボードの活用
- カ 手だて6(まとめの場面)
- ・仲間とのかかわり合いを通しての気づき
 - ・自分の考えの深化



- (5) 授業の実際
- ① 課題設定の工夫
- ライバル店に勝つための戦略を考えよう!
- ② かかわり合いの場の工夫
- ア 3, 4人のグループ編成
- イ 意見交換のポイントを黒板に掲示
- ・自分のコンセプトをよりよくしよう!
- ウ 個々のコンセプトを短冊にし、掲示
- ③ 振り返りの場の工夫
- ア 振り返りシートへの記入
- イ 自分のコンセプトの変容への気づき

(6) 生徒の感想

グループ(班)のみんなと意見交換をしてみて、いろいろな意見を知ることができました。特に印象に残っていたのは、「班のカロリーを下げる」という意見です。私の店のコンセプトの一つが「ヘルシー」なので、この意見はすごくいいなと思いました。みんなの意見を聞いてみて、生かせることがたくさんありました。自分の戦略にどんどん取り入れていきたいと思いました。

話し合いをする前は、「気軽に誰でも入りやすい店」を自分の店のコンセプトにしていた。だけど、話し合った後は、「誰でも入りやすいようにするなら、幅広い商品を用意して、売らなければならぬ」と思い、そのためにパンの種類を増やすことは大変なことだと思った。

(7) 成果と課題

① 成果

- ア パン屋の経営者の立場で考えさせたこと、新発田にパン屋の店を出すことを条件にしたことで、身近な問として課題に向き合うことができた。
- イ 自分の考えを深めたり練り上げたりすることに、グループでの話し合いは、効果的であった。
- ウ 地元のパン屋さんの話は、利益追求以外の喜びを知ることにつながった。
- エ 何よりも「経済」を身近な問題として受け止めるきっかけとなった。

② 課題

- ア 話し合いにおける教師の出場(でば)、支援の難しさ
- イ 振り返りの学習を行う際の、視点の明確化とそのための時間の確保
- ウ 「企業が社会に果たす役割」や「企業の社会的責任」への発展

友だちとのかかわり合い、意見交換を通して、経済活動を身近に感じ、自分の考えを深めるプロセスを通して、具体的なものにする事ができた。また、具体的なものにする事がかわり合うための前提条件となることの大切さが分かった。

2 キャリア教育での取組

(1) 金融教育の視点

「働くことの大切さ」や「職業観を養う」等の進路実現以外に、企業の社会貢献にも気付かせたい。

(2) 取組の実際

- ① 1学年⇒食に関する施設訪問と「のっぺ作り」
- ② 2学年⇒5日間の職場体験
- ③ 3学年⇒上級学校訪問

(3) 連携機関等

- ① ハローワーク
- ② 農協や商工会
- ③ 学校支援地域本部事業

(4) 金融教育との関連する取組 (H24年度)

月	学年	教科等	活動内容
5	2	総合	ハローワーク職員による講演会 「フリーターと正社員」 ◇フリーターと正社員の境遇の違いや生涯賃金の差等について学ぶ
6	2	総合	職業講話 ◇地元で働く様々な職業の方から、働くことの意味や意義、町づくり等について学ぶ 講師:吉川美貴 様 (県教育委員、町歴と人形さまの町おこし)
9	3	社会 (公民)	「わたしたちの生活と経済」 ◇消費者の権利と保護、収入と支出や貯蓄について学ぶ 職場体験を前にしたマナー講座 ◇プロの講師による講座で、職場の上司や同僚、お客様と接する時の姿勢や態度、言葉遣いについて学ぶ
10	2	総合	職場体験学習 ◇地元の事業所等で5日間連続での職場体験を通して、仕事に対する意識や、働いて収入を得ることの大変さややり甲斐、経済や流通のしくみや事業所等の社会貢献を学ぶ
10	2	家庭	わたしたちの消費生活と環境 ◇生活必需品の流通の基本や、消費生活の土台を学ぶ
10	3	社会 (公民)	「市場経済と金融」 ◇生産と流通の仕組みや、金融機関とわたしたちの生活とのかわりについて学ぶ
10	2	社会 (歴史)	「商工業者の同業組合」 ◇「産」や「株仲間」など、組合活動によって自らの経営を保護することを学ぶ

活動例 2年「職場体験」

(1) 時期

10月下旬(木曜～翌週の水曜日までの5日間)

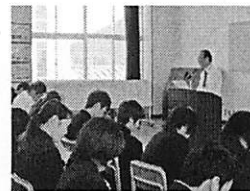
(2) 受け入れ事業所等

約80か所(生徒1, 2人配置)

※ 地域コーディネーターとの連携

(3) 主な活動

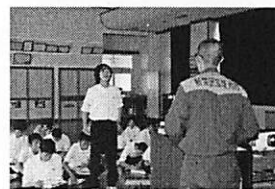
- ① 電話での依頼と事前打合せのための訪問(7, 8月)
- ② キャリアアドバイザーの講演(9月)
- ③ マナー講座(10月)
- ④ 礼状



ハローワークの講演会



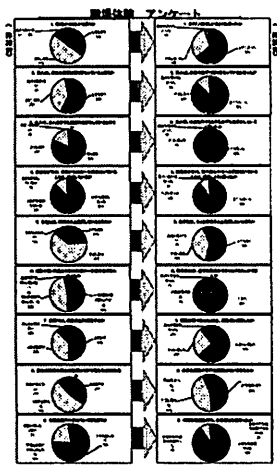
地元スーパーでの職場体験



消防士さんからの職業講話



町づくり講話



(4) 成果(まとめ)

・キャリア教育

仕事や労働に特化するのが、「キャリア教育」ではない



子どもの主体的、実践的な態度を育み、
人間としての生き方について学ぶ活動である



・金融教育

人の生き方に深くかかわるお金を通して、
人間としての生き方を学ぶ機会